

品名	灯具	適合ポール
SSP-2型	VEN07	LYV20

**お願い** 施工時、使用前に検知範囲、点灯保持時間などの調整が必要です。説明書を必ずお読みください。

**お客様へ** 器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず工事店、電器店に依頼してください。

**工事店様へ** 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

## 安全上のご注意

必ずお守りください

### 警告

器具の取り付けは、説明書にしたがい確実に  
 取付に不備があると、火災・感電・落下によるけがのおそれ  
 があります。

器具と被照射面は50cm以上はなす

指定距離より近いと、被照射物の変色・火災のおそれあり  
 ます。

接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって確  
 実に行う

接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。

こんな場所には取り付けない



禁止

- ・振動や衝撃の多い場所
- ・露天風呂などの湿気の多い場所

この器具は防雨型ポール取付専用です。  
 このような場所に取り付けると火災・感電・落下によるけがの  
 おそれがあります。

交流100ボルト以外では使用しない

過電圧を加えると火災・感電のおそれがあります。

### 注意

温度の高くなるものの近くに  
 取り付けない

ガス機器やその排気筒の近くに  
 取り付けないでください。  
 火災の原因となります。

調光器と組合せて使用しない

調光機能付壁スイッチなどの調光器と組合せて使用しない  
 ください。  
 火災の原因となります。

調光器の取りはずしが必要です。

この器具はご使用の環境に合わせて、検知範囲、点灯保持時間などを調整する必要があります。  
 ご使用前に説明書をよくお読みのうえ調整してください。

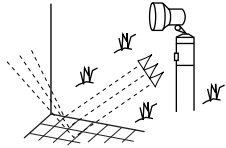
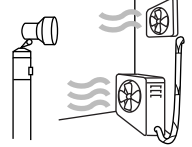
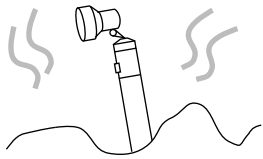
( 3ページ「各部のなまえと取り付けかた」、4ページ「設定のしかた」を参照してください。 )

## 取付場所について

熱線センサの検知性能をより確実にするため器具の取付位置は「設定のしかた」(4ページ)の項目をよくご覧のうえ、設定してください。

次のような場所には取り付けないでください。

このセンサは、周囲の明るさと温度変化を検知しますので、人以外の温度変化により点灯したり、人が器具に近づいても点灯しない場合があります。

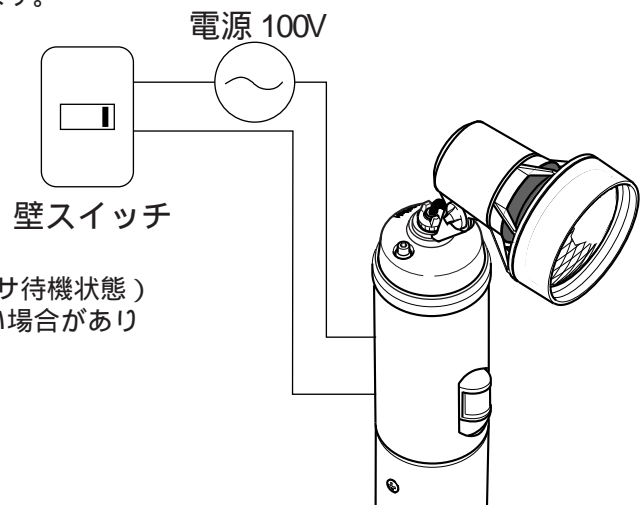
<p>禁止</p> <p>大理石など反射の強い床面のある場所</p> 	<p>禁止</p> <p>風などでよくゆれる植物の近く</p> 	<p>禁止</p> <p>エアコンの吹き出し口、換気扇の近く</p> 
<p>禁止</p> <p>交通量の多い道路に面した場所</p> 	<p>禁止</p> <p>不安定な場所</p> 	<p>禁止</p> <p>前面に障害物のある場所 (透明なガラスも含む)</p> 

## 配線について

壁スイッチは併設してご使用されることをお奨めします。付属されていませんので別途ご用意ください。

壁スイッチがないと・・・  
センサによる点灯時に異常が発生したとき、初期状態に戻すことができません。

壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチをONにしても照明器具が消灯状態(センサ待機状態)のときはパイロットスイッチ表示が正常に点灯しない場合があります。



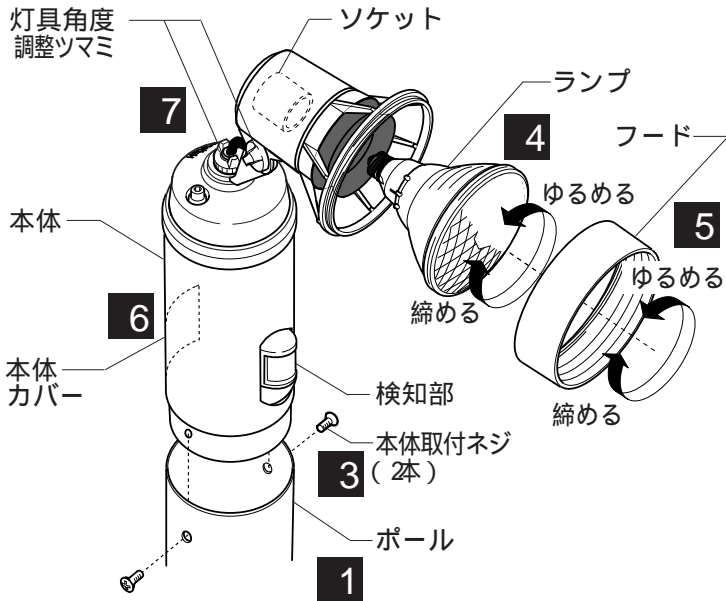
# 各部のなまえと取り付けかた



器具の取り付けは説明書に従い確実に行う  
守らないと、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります

## 取り付け前の準備

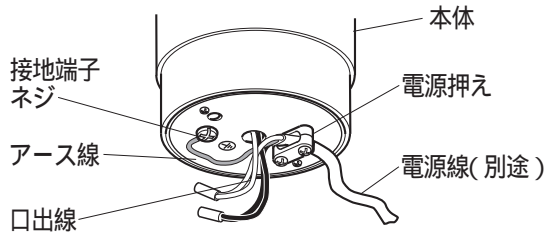
下図のように器具を分離してください。



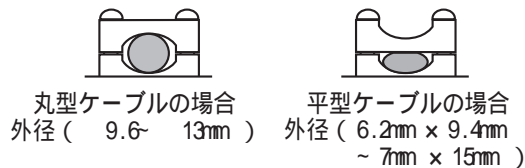
## 1 ポールを取り付ける

ポールの施工説明書は、別途ポールに添付しております。必ずご参照ください。

## 2 電源線を接続する



### 電源押えの使いかた



### 取り付け時のご注意

電源線は、シース部を電源押えでしっかり固定してください。ケーブルの押え量はケーブル外径 1/4程度としてください。

押え込みすぎると絶縁破壊の原因となります。口出線との接続はスリーブ等により確実にを行い、防水テープを施してください。

(内線規定 (JEAC8001-2000) 1335-7~9に準ずる) 接地端子ネジからD種 (第3種) 接地工事を行ってください。

## 3 本体をポールに取り付ける

### 確認

線のかみ込みにご注意ください。

## 4 ソケットにランプを取り付ける

## 5 フードを取り付ける

## 6 調整ツマミを使用状態に設定する

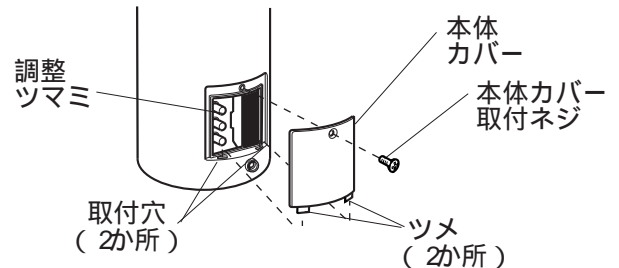
本体カバーを外してください。

「設定のしかた」(4ページ)を参照して取付場所に  
応じて調整してください。

本体カバーは必ず取り付けて使用してください。  
本体カバーを外したままで使用すると水が侵入し、  
感電・故障の原因となります。

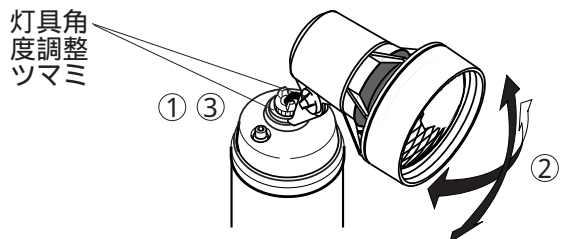
### 本体カバーの取り付けかた

ツメ (2か所) を本体の取付穴に差し込み本体カバー  
取付ネジで取付ける。

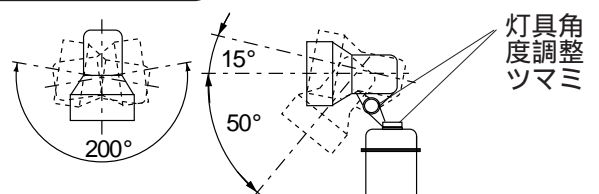


## 7 照射方向を設定する

- ① 灯具角度調整ツマミをゆるめる。
- ② 照射方向にむける。
- ③ 灯具角度調整ツマミを締付ける。



### 調整可能範囲



# 設定のしかた

⚠ 器具の取り付けは説明書に従い確実に行う  
守らないと、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります

## 取り付け前の準備

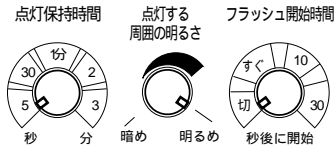
壁スイッチがOFFになっていることを確認してください。  
検知範囲の設定は昼間に行うことができます。

## 1 本体カバーをはずす

「各部のなまえと取り付けかた」(3ページ)を参照して本体カバーを外してください。

## 2 検知範囲を設定する

### ① 調整ツマミの設定を変更する

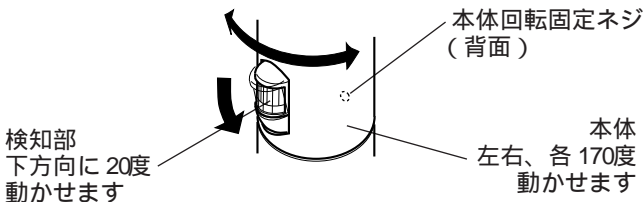


点灯保持時間を「5秒」にする  
点灯する周囲の明るさを「明るめ」(右いっぱい)にする  
フラッシュ開始時間を「切」にする

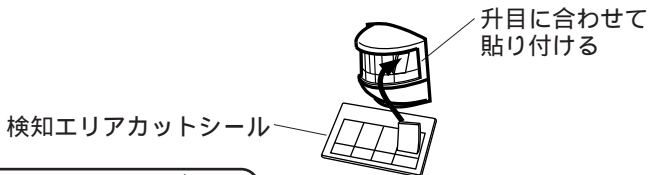
### ② 壁スイッチをONにし、検知範囲の外に出て待ち、約40秒後に消灯することを確認する

### ③ 検知範囲を調整する

器具背面の本体回転固定ネジをゆるめ、本体(検知部)を回転させ現場に合った検知範囲を設定してください。  
検知部を下方に可動させることにより、検知範囲を段階的に調整することができます。



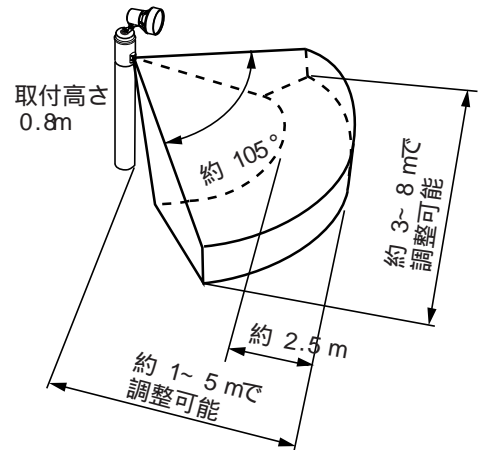
不要な検知範囲の調整は、同梱の検知エリアカットシールを検知部に貼り付けて行ってください。



## 取り付け時のご注意

本センサは検知範囲内の温度変化を検知するため、人以外の熱源(動物、車等)が移動したときも検知する場合があります。  
検知範囲内に人がいても静止している場合は検知できません。  
検知範囲は気温、服装、人の移動速度、進入方向、検知物の熱量、器具の取付高さ、取付面の傾きなどにより多少変化します。  
器具に向かってまっすぐ接近した場合は検知しにくくなります。

## 検知範囲の目安



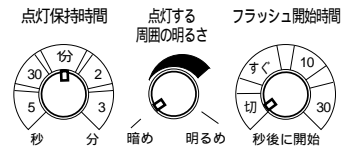
## 3 壁スイッチをOFFにする

## 4 調整ツマミを使用状態に設定する

この器具は3つの使い方が選べます  
取扱説明書の「この器具の3つの使いかたについて」(3ページ)を参照し、設定を行ってください。

### 設定例

暗くなって人が近づいた時だけ点灯させる場合



## 5 本体カバーを取り付ける

「各部のなまえと取り付けかた」(3ページ)を参照して本体カバーを外してください。

## 6 壁スイッチをONにする

取説コード

Z121

200304A